

福島第一原子力発電所現地確認報告書

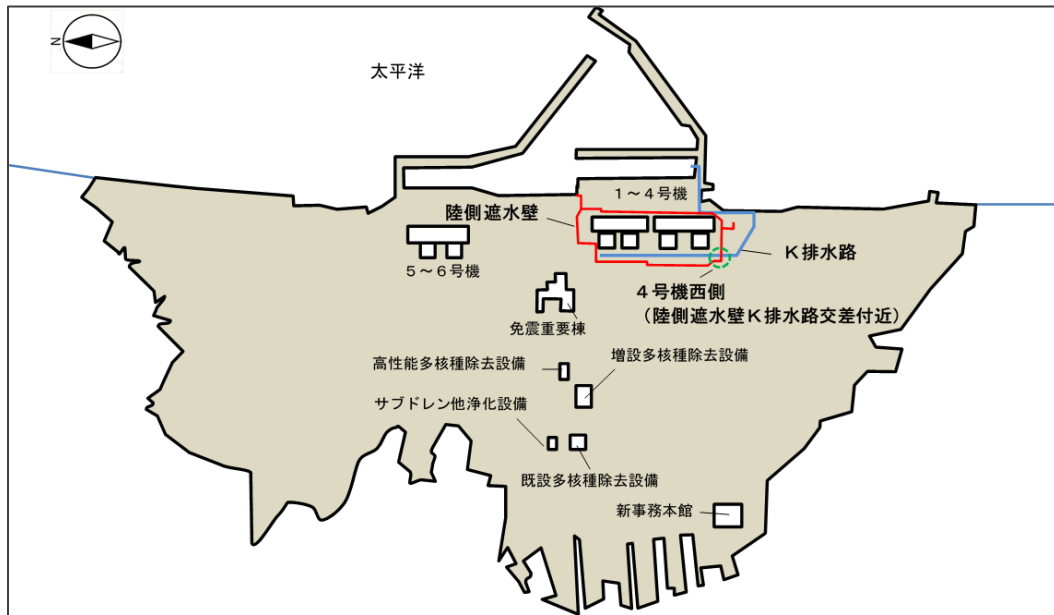
- 1 確認日
令和3年12月6日（月）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の対応状況

4 確認結果の概要

地下水の流入抑制対策の1つとして1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）の一部（K排水路交差付近）において、地中温度が0℃を超えている状態が継続している。

東京電力では、K排水路の調査で湧水を確認したことを踏まえ、地下水がK排水路に流入する過程で陸側遮水壁の凍結範囲の一部を融解し、地中温度を上昇させている可能性があるとしている。本日（12月6日）より、地下水の流入を抑制し、地下水のK排水路への流入及び測温管の温度上昇の変化を確認するための試験的な鋼管設置作業が行われていることから、前回（11月26日）に引き続き、遮水壁外側（西側）における状況を確認した。（図1）

- ・現場では、鋼管設置箇所に構台を組む等、鋼管設置に向けた準備作業がなされていた。（写真1）
- ・現場の東側には、地面を掘削するためのボーリングマシン等が置かれていた。（写真2）
- ・東京電力では、止水対策期間中は地中温度などを監視し、試験的な鋼管設置の効果を確認していくとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
鋼管設置箇所の状況
(南東側から撮影)



(写真1-2)
構台設置作業の状況
(西側から撮影)



(写真 2 - 1)
鋼管設置のための資機材の状況①



(写真 2 - 2)
鋼管設置のための資機材の状況②

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。